

段又御掛合候也六年九月廿九日外務

大藏省回答外務省宛

當地在勤典那原親方ヨリ館地下賜ノ儀御省へ申立候ニ付云々御掛合ノ趣承知イタシ候右館地ノ儀ハ此度限ノ特別ノ譯ヲ以テ無代價ニテ同藩ヘ下渡以來賦稅候様鹿兒島縣へ相違置候間其旨御承知有之度此段御回答旁申進候也六年十一月廿七日外務
大藏省限所公ニ及候旨同省回答來ル

六月廿日

大藏省へ達

三十四

別紙外務省同琉球藩公館摸様替費金ノ儀朱書ノ通及
指令候條此旨為心得相達候事 外務

外務省同

琉球藩在勤ハ四人ノ定員ニテ三人ハ公館内ニ居住
一人ハ致外宿居万事不便利ニ有之候ニ付方今館中
立付ノ家ニ凡全百圓位ノ入費ヲ掛摸替致シ候ハ
四人トモ同所ニ居住相調可申就テ館中ノ修繕向ハ
藩費ニ定置候ハ共右摸様替マテモ藩金ヲ以為致辦
用候テハ藩人ノ氣受ニ如何ト存候間御用金ノ内ヲ
以テ致造營以後ノ修復立付敷替等ハ一切藩費ニ相
立候様イタレ度存候依テ此段相伺候也六月九日
外務

三十日

太政頒典

六月九日

外務

日

三十七

同ノ趣聞昌候事六月廿日

左院議案財務課主査

外務省同在琉球藩公館摸様替費用ノ儀審議仕候裏
右ハ在勤ノ者共居住離隔罪在候テハ不辨利ニ付館
中摸様替致シ度旨云々申立ノ趣事情不得止儀ニ付
伺ノ通り御用金ノ内ヲ以造營ノ儀御聞居左ノ通り
御指令相成可然存候也六月十四日 外務

(按)是レ外務大藏兩省ノ達スル所ナリ當時兩省官吏
ヲ差遣シテ朝貢ノ事ヲ提理セシム今其公文ニ據テ
之ヲ錄載ス(大日本租税志)

大日本租税志琉球藩貢納ノ部序説ニ云按琉球ハ維
新以前鹿児島藩ニ屬シ出米ト稱シ其租入額壹石コ
トニ九升貰合ラ鹿兒島藩ニ貢納マリ明治五年琉球
藩ヲ建テ其主ヲ藩王ニ封スルニ及テ舊額ヲ減少シ
年々定額ヲ以テ之ヲ朝貢セシム十二年藩ヲ廢シ貢
納乃チ廢絶セリ